

学位被授与者氏名	武田 妃織 (たけだ きおり)
論文題目	<i>The Adventures of Tom Sawyer</i> と <i>The Adventures of Huckleberry Finn</i> から見る Mark Twain の子ども観
論文審査結果の要旨	<p>トウエインの子ども描写を分析する際に用いられた六つの視点は、筆者独自の設定となっており、今までの評論文や研究書で見落とされていた子ども描写の方向性を明確化した点で評価できる。ただし、六つの視点を統合して、トウエインの子ども描写の全体像を完全に明らかにするには至っておらず、この点が惜しまれる。自伝に記載されているトウエインの少年時代の記憶と、作品中の子どもの描写の対応関係や、幼少時代の経験が子ども描写にどのような影響を与えたかも、筆者独自の視点から丹念に検証されており、一定の評価ができる。その一方で、自伝に関する分析は、論文の主題と十分に有機的には連結しておらず、独立した考察の色彩を帯びる結果となっており、トウエインの子ども観の特徴を明らかにするという所期の目的に十分には貢献していない。文化論や歴史書に見られる教育観や子ども観と、トウエインの子ども観とを比較検討する視点も、過去のトウエイン研究に見られない新機軸の論考であり、援用している文化論等も適切に選択されており、この点も評価できる。ただし、独自の視点からの比較検討を行いながらも、比較結果に関する考察が十分な紙数と共になされているとは言えず、この点も惜しまれる。</p> <p>平成 26 年 2 月 24 日に、北九州市立大学北方キャンパス 3 号館 3-320 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(英米言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>